

令和6年度の「市町村支援の充実」に係る取組

各市の取組を把握することにより、先進的な取組については他市へ共有することで圏域全体の底上げに繋げたり、課題とされている取組については、各市の状況やニーズに応じた的確な支援を実施するため、調査及びヒアリングを実施

- **先進的な取組は各市特色が異なる**

⇒ 保健所が主催する研修等を通じて紹介し、他市における取組促進に繋げる

- **共通する課題を確認(※)**

⇒ 集合研修の機会を増やすことに加え、各市の状況に応じた個別の支援を実施

※ 共通課題

- ① 避難所等における衛生管理対応（初動期）
- ② 発災後72時間以降の保健活動の具体化
- ③ 福祉避難所の開設・運営

令和7年度の市職員向け集合研修においては、「② 発災後72時間以降の保健活動の具体化」を推進することを目的として実施

円滑な災害時保健活動に向けた情報管理のトレーニング 情報管理の基盤 クロノロジーをマスターしよう！		避難所における保健活動の具体化に向けて 発災72時間後の避難所を巡回してみよう
実施日時	6月6日（金曜日）13:30～16:30 <参加実績 58人>	8月8日（金曜日）13:30～16:30 <参加実績 54人>
目的	発災後3日間は、保健・医療・福祉ニーズや避難所情報等、多種多様な情報が入り乱れることから、情報を適切に処理できるようになることを目的として、クロノロジーを活用した情報管理の演習を実施	
内容	<p>想定フェーズ 発災直後～72時間</p> <p>参加者の役割 市の本部職員（市災害対策本部・市保健センター）</p> <p>本部で想定される保健・医療・福祉に係るイベントを、運営側が1分間に1回のペースで読み上げ、参加者がクロノロジーに書き出し、記載された内容を基に情報整理を行う演習を実施</p>	<p>想定フェーズ 発災後72時間～</p> <p>参加者の役割 市の保健活動チーム(保健師、栄養士、事務職等)</p> <p>避難所で想定される衛生問題・健康課題を、多摩府中保健所の各会議室で再現し、参加者は保健活動チームの一員として巡回しながら観察のポイント等を学ぶ演習を実施</p>

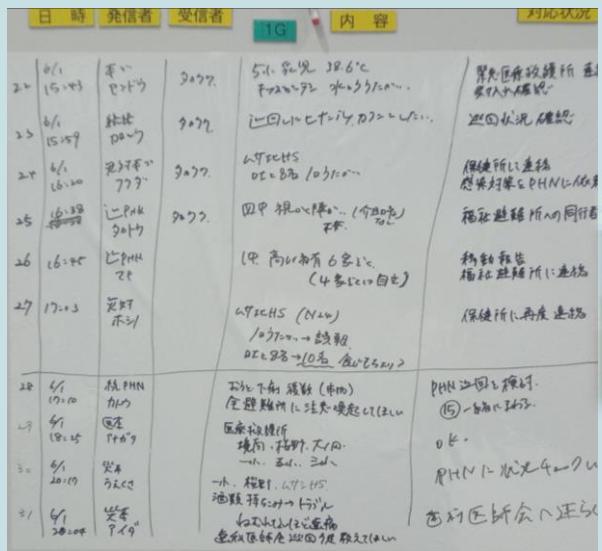
情報管理の基盤 クロノロジーをマスターしよう！

研修の様子

発災72時間後の避難所を巡回してみよう

情報管理の基盤となるクロノロジーの活用方法を学ぶため、クロノロジーの記録演習を2回実施。

1回目は市の災害対策本部、2回目は市の保健センター本部で想定されるイベントを、運営側が1分間に1回のスピードで読み上げ、それを参加者がクロノロジーに記録し、グループワークで情報整理を行った。



研修で記録したクロノロジー



情報を地図に落とし込む様子



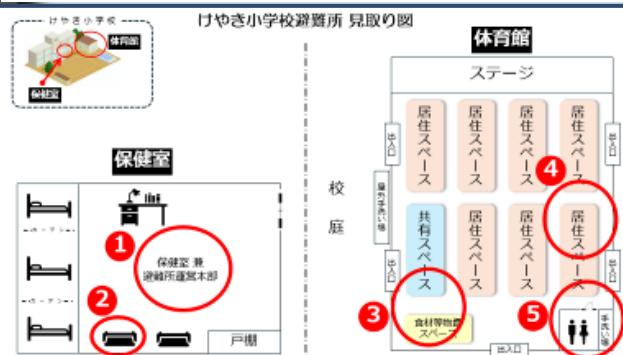
クロノロジーへの記録の様子

ポイント③ 食品の衛生管理



けやき小学校(架空の小学校名)避難所の見取り図
①～⑤のポイントを、保健所内の会議室で再現

(避難者役[保健所職員])
トイレが汚くてあまり行きたくないの。だからなるべく水飲まないようにしてる



作り置きのカレーライス
やおにぎり・サンド
ウィッчиに見立てたもの

ポイント② 乳児連れ家族の対応



(研修参加者)
赤ちゃんはミルク飲
めていますか？パパ
さんも眠れています
か？



(避難者役) [保健所職員])

(研修参加者)
今日も暑いです
ね・・水分補給はで
きていますか?



汚物で溢れる
トイレ

ポイント④ 発熱者(熱中症患者)への対応



(避難者役[保健所職員])
トイレが汚くてあまり行きたくないの。だからなるべく水飲まないようにしてる

今後の取組

- 情報管理の演習等、各市において独自に実施できるよう、研修で用いたイベントの内容や時間配分・演習の進め方を精査し、演習ガイドを展開
 - 各市のニーズ・課題等に応じた個別の支援を実施（7/28 小金井市 10/20 三鷹市）